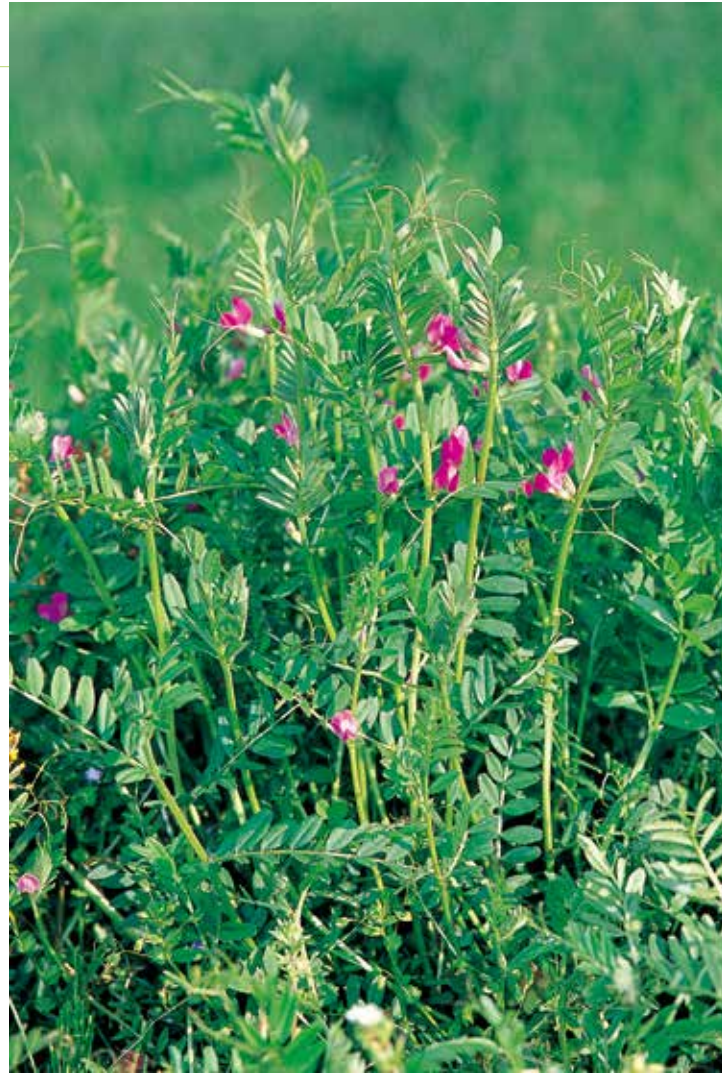


カラスノエンドウのなかま

雑草にはマメ科のものが多い。マメ科の花は多くが蝶形花、実は豆のさやの形をしている。葉はたいてい複葉だ。カラスノエンドウは空き地や道ばたにたくさん生える。小葉の先が少しくぼんでいるのでヤハズノエンドウとも呼ばれるが、先のくぼまないものもある。似た種類にスズメノエンドウやカスマグサがある。どれも3~4月ごろに花をつける。

▶カラスノエンドウ
花は葉の付け根に1、2個つく。柄はごく短い。(p10花,53成長,65つる,74・79葉)



◀実をつけたカラスノエンドウ
実は、初めは緑で熟すと黒くなる。それでカラス？ 葉の先が巻きひげになっているのがわかる。

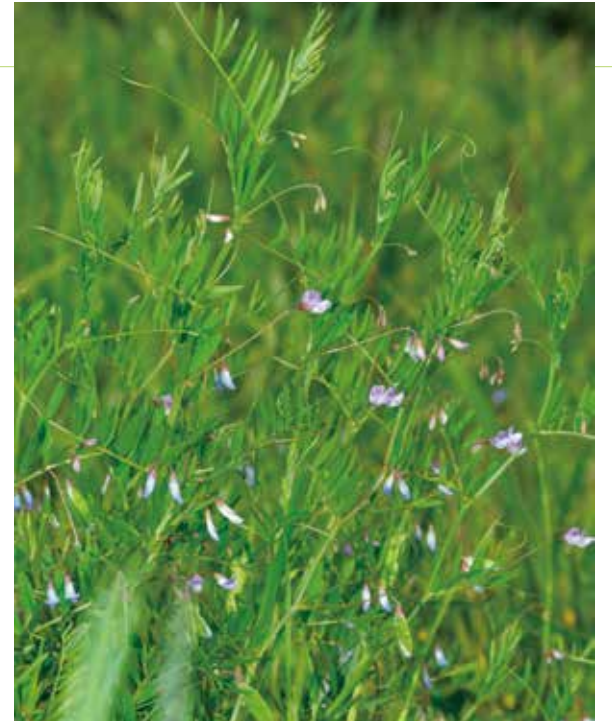
▲カラスノエンドウの熟した実
果皮は1枚だが、合わせ目から2個に裂ける。中に5~10個ほどのたねがある。

野菜のエンドウの托葉

カラスノエンドウには托葉（たくよう、p74）があるが、同じなかまの野菜のエンドウの托葉はずっと大きい。



▲スズメノエンドウ
カラスノエンドウよりも茎や葉は細い。全体になよなよした感じ。



▲カスマグサ
スズメノエンドウよりもっと頼りない感じ。



▲スズメノエンドウの花
長い柄の先に小さい花が3~7個ほどつく。



▲スズメノエンドウの実
小さくて毛深い。中に2個のたね。



▲カスマグサの花
長い柄の先に花が2個つく。



▲カスマグサの実
中に4個のたね。

実にも葉脈がある？

カラスノエンドウの若い実を光にかざすと血管のようなものが見える。これは葉脈に当たったもので、さや（果皮）が葉の変化したものであることがわかる。



カラスとスズメと、その間

草の名前にはカラスやスズメのつくものがある。カラスにくらべればスズメは小さいということである。カスマグサはカラスノエンドウとスズメノエンドウの中間というのでついた名だが、両種の雑種ということではない。

